

令和6年度公益財団法人国際湖沼環境委員会事業報告

公益財団法人国際湖沼環境委員会（ILEC）は、国連環境総会（UNEA）で採択された持続可能な湖沼管理（SLM）の推進と湖沼流域管理の主流化に貢献する統合的湖沼流域管理（ILBM）活動の推進に向け、令和6年度は「ILECの中期展望2022」に基き、次の3つの主要事業を展開した。

「科学的知見の集約」では、湖沼管理ガイドライン改訂の検討や ILBM 研修教材の改訂作業などの科学委員会活動を中心に、国際社会における ILBM 議論の推進を図った他、第21回世界湖沼会議(WLC21)開催地の選定などを行った。

「国際協力の推進」では、第20回世界湖沼会議(WLC20)に向けた「SLM-Week」の開催や第10回世界水フォーラム(WWF10)において「世界湖沼の日」制定に向けた機運醸成を図るなどの国際協力を行った。

「人材育成及び普及啓発」では、JICA 課題別研修、環境省インドネシア湖沼水質改善技術協力事業およびマレーシアにおける住民の生態系サービス共有価値評価（PESSVA）導入事業など研修事業を中心に人材育成の取組を幅広く展開した。

なお、内閣府により認定されている公益目的事業区分に従う事業報告は以下のとおりである。

公益目的事業

I. 世界の湖沼保全のための基盤事業

1. 科学委員会活動運営事業

国連環境計画（UNEP）や世界銀行など国際機関と連携し、Green Book（GEF レポート）の改訂、今後の SLM 推進に向けた活動展開やそのための体制強化に向け、科学委員会活動方針および第15期科学委員会メンバー構成の検討の他、国際陸水学会（SIL）と連携し、湖沼管理者向けガイドラインシリーズの改訂を進めた。

2. 世界湖沼会議企画協力事業

(1) WLC20 の開催準備

WLC20 の開催に向け、7月にオーストラリア・ブリスベンで現地ホストのグリフィス大学、運営会社 ASN 社と事前協議を実施し、会場等の現地視察を行った。世界湖沼の日(WLD)制定後初の世界湖沼会議開催となることから WLD に係る特別セッション、国際コロキウムなどの開催を企画し、関係機関等との調整を行った。

また、日本万国博覧会記念基金の助成を受け、9月に「グローバルユースと考える持続可能な湖沼管理(SLM) Week」(SLM-Week)を開催した。SLM-Week では、25日から27日の3日間において世界6か国のユースを招聘した「グローバルユースワークショップ」を開催した他、28日には ILEC 科学委員を含む世界の専門家によるパネルディスカッションおよび円卓会議から構成した

「SLM フォーラム～持続可能な湖沼管理の推進：共に創る未来」を世界20か国135人の参加者を得てハイブリッドで開催し、WLC20 に繋げた。

(2) WLC21 の開催都市決定に向けた取組

ウェブサイト上で開催候補地を公募し、5つの地域からプロポーザルの提出があり、ILEC 科学委員による候補地の選定を行った。

3. 世界湖沼データベース・知識ベース整備事業

ILEC の知的財産である世界湖沼データベース、知識ベースシステム LAKES および国際越境水域評価プログラム (TWAP) ポータルサイトについて公開データの保守管理を行った。

4. 湖沼保全活動広報啓発事業

11 月に SLM-Week 特集としてニュースレター臨時号 (Web 版) を、2025 年 3 月にはニュースレター第 72 号を発行するとともに、12 月には WLD 制定記念特設 Web ページを公開し、ILEC 理事長メッセージを発信した。

加えて、ILEC 活動の認知向上を図るためホームページでの広報を中心に、メールマガジン、Facebook、LinkedIn および Instagram での情報発信に加え、滋賀県政記者クラブへの資料提供、記者説明を行い活動の見える化に努めた。

- ウェブサイトー日本語・英語 (年間訪問者数 15,396 人、年間ページプレビュー数 43,608)
- メールマガジンー日本語・英語 (年度末配信登録件数 1,457 件 延べ年間配信数 19 回)
- Facebookー日本語・英語 (延べ年間投稿数 80 件 ファン数 1,954 人)
- LinkedIn (年間投稿数 39 件 ファン数 131 人)
- Instagram (年間投稿数 6 件 ファン数 36 人)

II. 湖沼流域管理等研修事業

1. 統合的流域管理研修事業

(1) JICA 課題別研修

JICA から委託を受け課題別研修「水資源の持続可能な利用と保全のための統合的湖沼・河川・沿岸流域管理」について開発途上国等の行政官や研究者を対象にリモート研修 (3 週間) と来日研修 (5 週間) を実施した。「びわ湖フローティングスクール・うみのこ」や「琵琶湖・淀川・大阪湾流域」の視察などプログラムの充実を図った。

研修員：4 名

参加国：エルサルバドル(1 名)、ニカラグア(1 名)、スリランカ(1 名)、バングラデシュ(1 名)

また、2023 年度研修フォローアップとして研修履修生の集いを 2025 年 3 月にオンラインで開催し、アクションプランの実施状況等の意見交換を行った。

研修履修生：4 名

参加国：ナイジェリア(2 名)、インド(1 名)、エルサルバドル(1 名)

オブザーバー：JICA ニカラグア事務所職員(1 名)

その他、Web サイトで公開している Training Material について情報の充実に向けた改訂を進めた他、JICA 地球環境部とポスト課題別研修に向けて 2025 年 1 月に協議を実施した。

(2) 湖沼管理者向けガイドラインブックの改訂

ILEC 科学委員の協力、SIL との連携により湖沼管理ガイドラインシリーズの改訂に向け検討を進めた。

2. 環境教育等研修事業

(1) 企業・学校教育機関・地方自治体等と連携した環境教育事業

10 月に近畿労働金庫および認定 NPO 法人びわこ豊穰の郷と共に、第 5 回びわ湖まるっと親子セミナーを開催した他、2025 年 1 月に JICA 地域理解プログラムの支援を行った。

(2) JICA 草の根技術協力事業

ニカラグア・マナグア市を対象とする環境保全活動推進支援事業の JICA 草の根技術協力（地域活性型）事業採択に向け、JICA 関西センター、JICA ニカラグア事務所、滋賀県および滋賀大学と調整検討を行い、11 月に事業提案書を提出し、事業実施に向け協議をした。

3. インドネシア湖沼水質改善技術協力事業

環境省から委託を受け、インドネシアにおける湖沼水質改善のための技術協力業務を実施した。

11 月にインドネシア中央政府および地方州政府行政官 7 名を対象に訪日研修を実施し、茨城県霞ヶ浦と滋賀県琵琶湖で面源負荷削減、排水処理等の現地視察や今後の施策展開について意見交換を行った。

III 国際機関との共同連携による統合的湖沼流域管理推進事業

1. UNEP 共同協力事業

(1) 協力協定に基づく国際的取組

5 月にインドネシア・バリ島で開催された WWF10 に参加し、第 19 回世界湖沼会議バートン宣言で WLD 制定が支持されたことを紹介し、SLM 推進に向けた普及の旗印として、「世界湖沼の日」制定に向け強く働きかけた。

さらに、UNEP との年次会合を 5 月にバリ島で実施するとともに、9 月に開催した SLM フォーラムにパネラーとして UNEP 担当官の参加を得た。

(2) UNEP-ILEC SLM 推進プロジェクト

UNEP と連携し、世界 28 湖沼の分析（2003-2005）に基づく Green Book（GEF-LBMI レポート）の改訂に向け検討を進めた。併せて、世界的な SLM の推進に向けて、アジアでの ILBM を活用した湖沼流域管理手法をアフリカなど各地に普及するため、UNEP 等との共同連携による取組について検討を進めた。

2. ILBM 国際連携推進・普及啓発事業

地球環境基金助成金を活用したマレーシア PESSVA 導入事業では、8 月に政府および国立水理研究所等関係者 5 名を招聘し、プトラジャヤ湖および Langat 川流域での PESSVA 調査に向けたワークショップを実施した。2025 年 2 月には、現地においてステークホルダー参加型ワークショップを開催し、PESSVA 調査結果報告を基に住民参加を促した。同ワークショップではネパールから

関係者 2 名を招聘し、普及拡大を目的に PESSVA プロジェクトについて協議を行った。

法人会計

1. 公益財団法人運営業務

公益財団法人に関する法令等を遵守し、適正な財団運営に努めるとともに光熱水費を中心に固定費等削減、寄付金獲得による必要な財源確保など財務基盤の改善に努めた。

2. 琵琶湖博物館別館（旧 UNEP センター）施設管理運営事業

滋賀県から委託を受け、琵琶湖博物館別館（旧国連環境計画国際環境技術センター）の敷地（面積 12,719 m²）と建物（延面積 3,018 m²）の適切な維持管理に努めた。

会議開催状況

1. 理事会・評議員会

令和 6 年度における理事会・評議員会の開催日程と審議事項は次のとおり。

(1) 理事会

① 第 45 回理事会（決議の省略）（令和 6 年 4 月 15 日）

提案事項 1 第 32 回評議員会の招集について

② 第 46 回理事会（定時理事会）（令和 6 年 5 月 29 日）

第 1 号議案 令和 5 年度事業報告および収支決算について

第 2 号議案 第 33 回評議員会の招集について

報告事項 1 内閣府への定期提出書類について（令和 5 年度）

報告事項 2 評議員候補者名簿について

報告事項 3 監事交代に伴う候補者名簿について

報告事項 4 令和 6 年度の寄附金の受入について（関西みらい銀行、近畿労働金庫）

報告事項 5 理事長および副理事長の職務の執行状況について

③ 第 47 回理事会（定時理事会）（令和 7 年 3 月 10 日）

第 1 号議案 令和 6 年度収支予算の補正について

第 2 号議案 ILEC 活動中期計画について

第 3 号議案 令和 7 年度事業計画および収支予算について

第 4 号議案 基本財産の一部処分について

第 5 号議案 第 34 回評議員会の招集について

報告事項 1 令和 6 年度事業実施状況について

報告事項 2 「世界湖沼の日」の制定について

報告事項 3 理事長および副理事長の職務の執行状況について

④ 第 48 回理事会（決議の省略）（令和 7 年 3 月 31 日）

提案事項 1 事務局長の選任について

(2) 評議員会

① 第 32 回評議員会（書面決議）（令和 6 年 4 月 18 日）

提案事項 1 理事の選任について

② 第 33 回評議員会（定時評議員会）（令和 6 年 6 月 17 日）

第 1 号議案 令和 5 年度事業報告および収支決算について

第 2 号議案 評議員の選任について

第 3 号議案 監事の選任について

報告事項 1 内閣府への定期提出書類について（令和 5 年度）

報告事項 2 令和 6 年度の寄附金の受入について（関西みらい銀行、近畿労働金庫）

③ 第 34 回評議員会（定時評議員会）（令和 7 年 3 月 18 日）

第 1 号議案 基本財産の一部処分について

報告事項 1 令和 6 年度事業実施状況および収支予算の補正について

報告事項 2 令和 7 年度事業計画および収支予算について

報告事項 3 「世界湖沼の日」の制定について

2. 監事監査

令和 6 年度における監事監査の開催日程と監査事項は次のとおりです。

① 令和 5 年度監事監査（令和 6 年 5 月 8 日）

監査項目 令和 5 年度事業報告および決算書類